

ちびこ



『ちいさなえほんや ひだまり』 代表・青田 正徳さん

1952年、北海道遠軽町生まれ。79年から児童書販売の携わり、95年に現在「ちいさなえほんや」の場所を開業。道内各地の児童館や保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、社会福祉施設などで、絵本の読み聞かせや、絵本の製作、絵本の販売など、幅広く活動中。

今年で開店22周年
新発寒の絵本専門店

手稲区新発寒の閑静な住宅街に、今年で開店22周年を迎えた絵本の専門店「ちいさなえほんやひだまり」があります。一見すると普通の民家ですが、一歩足を踏み入れるとそこには広がるのは、ところ狭しと並び絵本の山・山・山。昔懐かしいお馴染みの絵本から話題の新作、一般の書店では見かけない希少な作品まで2500冊もの絵本を揃えています。それら1冊1冊すべての絵本を読みながら選んでいるのが、本店の代表を務める青田正徳さん。この道37年の絵本のエキスパート。

『ちいさなえほんや ひだまり』 絵本がある、幸せな時間



子どもの想像力や言語能力を高め、健やかな心を育てる効果が期待されている「絵本の読み聞かせ」。単なる教育ツールとしてだけでなく、読み手と聞き手の温かな時間が共有できるもの、親子の絆を深める手段として、近年ますます注目を集めています。

そこで、手稲区新発寒にある絵本専門店「ちいさなえほんやひだまり」の代表を務める青田正徳さんに、絵本の読み聞かせの魅力について伺ってみました。子供と絵本に関わる悩みの多いお母さんやお父さん、ぜひ参考にしてみてください。

「優れた絵本の世界を伝えたい」と、青田さんが同店を開店したのは1994年。児童書販売の仕事に携わるうちにすっかり絵本の魅力に取り憑かれ、喫茶店の一角で同店を開業。2年後現在の場所に移動し、以来20年間、子供と母親たちに向けて絵本の楽しさ・素晴らしさを伝えてきました。「子どもたちにとって絵本とは、想像の世界へとはばたく翼であると同時に、読み手の愛情を一身に受けられる幸せな時間。また親にとっても子供と共有できる幸せな記憶として重要な役割を果たします。これまでもこれから、そんな親子の豊かな時間を紡ぐお手伝いができればと考えています」と、笑顔で語ってくれました。



ちいさなえほんや ひだまり

住)手稲区新発寒
3条4丁目3-20
電)011-695-2120
営)10:00~19:00
休)火・水・木曜
P)あり(無料・2台)

0~1歳にオススメ

『ぴたっ!』

2013年/福音館書店
あずみ虫 作・絵

ページをめくると動物の親子がぴたたりと寄り添う、ほっこり温かな絵本。のびやかで、ユーモラスな動物たちは見ているだけで癒やされます。本を閉じたら、一緒に読んでいた子どもを、「ぴたっ!」と抱きしめたくなるはず。

2~3歳にオススメ

『わにわにのおふろ』

2004年/福音館書店
小風さち 作
山口マオ 絵

ワニのわにわにはお風呂が大好き。お湯につかり、おもちゃで遊び、せっけんのあぶくをたはし、シャワーをマイクに歌って歌います。木版画のワニと色々な擬態語・擬音語がユーモラスで、言葉を覚え始める頃におすすめです。

4~6歳にオススメ

『きょうはそらにまるいつき』

2016年/偕成社
荒井良二 作・絵

それぞれの人が暮らすそれぞれの場所に、優しい月の光がふりそそぐ夜。さりげなくも穏やかな日常風景を、圧倒的に美しい絵と言葉で楽しませてくれます。まずは少し離れて、絵からじっくり楽しんでみてください。

小学生以上にオススメ

『ナヌークの贈りもの』

1995年/小学館出版
星野 道夫(著)

極北の自然と人間を撮り続けた写真家・星野道夫の、ホッキョクグマとエスキモーの神話をモチーフにした写真絵本。いのちの連鎖と、生きることの大切さを教えてくれる一冊です。親子の会話のきっかけにもオススメです!

子どもたちが自由に遊ぶことができるオモチャが置かれ、ママはじっくり相談しながら選ぶことができるのも嬉しいポイント。絵本の選び方から時には子育て相談まで、気がつけば2、3時間のんびりと過ごして行くお客さんも少なくないのだとか。



店内では定期的に企画展を開催しており、10月21日(金)~11月21日(月)は、豊かな色彩と独自の世界観で知られる絵本作家・荒井良二さんの絵本展を開催予定。この機会にぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

『ちいさなえほんやひだまり』代表・青田さんに聞く!

子どもと絵本

どうしたらいい?

「読みたいけれど、読むのが難しい」というお話を聞かされたときに、まずはお話に興味を持ってもらうからこそ、次々と質問があふれてくるもの。読み聞かせの時間は「本を読む時間」ではなく「本を通して遊ぶ時間」だと考え、脱線したりまた戻ったりしながら、楽しい時間を共有していきましょう。

Q 読み聞かせの最終的に質問攻め…。すぐ脱線してしまいます。

A お話に興味を持ってもらうからこそ、次々と質問があふれてくるもの。読み聞かせの時間は「本を読む時間」ではなく「本を通して遊ぶ時間」だと考え、脱線したりまた戻ったりしながら、楽しい時間を共有していきましょう。

農試公園

『フルディックウォーキング講習会』

膝や腰に負担をかけず、全身の筋肉が強化できる北極生まれのスポーツです。小学生以上から参加OK!

日時 10月15日(土) 10時~11時30分

会場 農試公園

定員 小学生以上20名

講習料 200円

※用具は無料で貸し出しします。

申し込み 10月1日(土)8時45分より先着順、電話または直接窓口へ

問い合わせ 農試公園管理事務所(八軒5条西6丁目) 011-615-3680

山の手図書館

絵本の読み聞かせ会

日時 10月11日(火)、18日(火)、25日(火)、11月1日(火)、8日(火)、15日(火) 15時30分

「やまね(ぼうや)」「すっぱんぼんのすけ」ほか

日時 10月15日(土) 幼児向け:14時~14時20分「しおちゃん」とこしよちゃん」ほか

小学生向け:14時30分~15時「子ぎつねのライオンたいじ」ほか

定例大人のあはなし会

日時 10月22日(土) 10時30分~12時「ねむりひめ」ほか

図書館オタクマガイデー 腹笑い「腹話術パレード」さんぽ「ほか、腹話術 紙芝居、手品など

日時 10月29日(土) 14時~15時

会場 山の手図書館 2F多目的室(西区山の手4条2丁目)

申し込み・費用 不要

問い合わせ 011-644-6822

みんなのHAPPYマーケット2016

今年で10周年の「HAPPYマーケット」は、子育てママの毎日をより心豊かにする1日。カフェ・マッサージ・セラピー・雑貨など、選び抜かれたお店60店舗が大集合します。事前予約制の有料託児あり!

日時 11月2日(水) 10時30分~16時

会場 LIXILシヨールム札幌

参加費 大人500円、子ども無料

予約 不要、直接会場にお越し下さい

託児 要予約、一人1500円(午前は定員に達したため、午後の13時30分~15時30分までのみ受付中)

問い合わせ mothers space ミーナ <http://happyina.com> イベント詳細、託児申し込みはHPへ

ちあふる・こし子育て講座『ベビーマッサージ』

日時 10月26日(水) 10時15分~11時15分

会場 ちあふるにし集会室

講師 アドバンス助産師 タッチケア協会認定指導者 梅本智子氏

対象 3~8か月までの子どもと保護者

定員 親子15組・先着順

参加費 無料

申し込み 10月12日(水)から電話で

受付電話番号 011-641-6954 (西保健センター1F 西区子育て支援担当係)

受付時間 月~金曜日(祝日をのぞく) 9時~17時

問い合わせ 西区保育ちあふる・にし(西区二十四軒3条5丁目6-1) 011-613-7882

※諸事情により、事前の予告なく変更される場合があります。

